

同窓会通信



高知県立
中村高等学校
同窓会

〒787-0003
高知県四万十市
中村丸の内24
中村高校総務部

同窓会長ご挨拶
遠近巖(S47年卒)

師走の候、同窓生の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。また、皆様方には日ごろから同窓会活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

今年の四万十市は、春から暖かく、桜は三月中旬位から満開となり、月末には終わってしまいました。夏は、前半こそ雨も降りましたが、それ以降は猛暑となり、九月になっても秋雨前線も下りてこず、少雨となりました。紅葉も全国的に少し遅れています。

四万十市では、例年この時期(十一月中旬)には、四万十川赤鉄橋の上流にある小島の産卵場付近に、上流から産卵のため下ってきたアユが沢山見えるはずですが、今年はまだ少ないです。十二月一日午前六時から、落ちアユ漁の解禁です。

仕掛けの準備をしながら、豊漁になることを祈っています。

令和二年二月頃から、日本中でもコロナが猛威を振るっていました。同窓生の皆様方は大丈夫でしたか？コロナ終息まではもう少ししかかると思いますが、十分注意して下さい。

このコロナの影響で、この三、四年は、中村高校同窓会本部、また各支部とも、総会が普通に開催出来ませんでした。しかし、今年の五月八日から、コロナの感染症法上の位置付けが、二類から五類に移行されたことにより、我々に課せられていた行動制限がなくなり、また総会開催に向けて舵を切りました。本部では、五月十日(木)執行役員会を開催し、総会に向けての準備に入りました。ま

ず常任委員会(七月五日)と総会(八月十二日)の日程を決定しました。常任委員会では、総会の日程や懇親会次第等の説明を行いました。四年ぶりの総会です。出席していただける会員の皆様を増やすため、今年も親睦ゴルフ大会を開催することとし、参加者を募集したところ多くの申し込みがあり嬉しく思いました。ありがとうございます。

対策の意識統一を行いながらゴルフ大会を開催しました。高知支部の小野三雄支部長(S40年卒)はじめ六十一名の同窓生に参加していただき、午前八時過ぎに十六組で「親睦ゴルフ大会」をスタートすることができました。

総会は、八月十二日の午後五時三十分より、料亭「吾妻」で開催しました。高知支部長小野三雄様、名古屋支部長岡村隆行様、大阪支部長森田耕吉様、東京支部長立目浩文様にも参加いただき、計五十八名での開催となりました。議長に指名した今城京助副会長が、第一号議案から第四号議案まで議事進行し、それぞれの承認を受け終りました。

懇親会には、八十九人での開催となり、会長挨拶から始まり、最後は校歌斉唱で幕を閉じました。この総会懇親会には、大先輩の方々から若い会員の皆様まで、同じ中村高校の同窓生として参加頂いています。せっかくの良い機会ですので、卒業年度にこだわらず、同じ中村高校の同窓生として楽しく親睦を図っていただ

学校長ご挨拶
宮地 秀伸(S57年卒)

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動に物心両面からご支援を賜り、心から感謝申し上げます。歴史ある母校の校長として赴任して三年目となりました。幡多地域の中心的役割を果たす学校として、更なる歴史と伝統を刻むべく日々の教育活動に尽力しているところです。今後とも一層のご支援ご協力をお願いいたします。三月には、本校・分校併せて百七十七名が卒業し、同窓会のメンバーとなりました。また、四月には新入生を迎え、五月一日現在で高校本校四百七十一名、分校二十一名、併設中学校百三十五名の生徒数となっています。人口減少の地域にあって、近年定数に達していないのが現状です。進学の面では、国公立大学に過去最高の五十八名(卒業生の約三十四%)が現役合格するなど、実績を着実に積み上げています。

また、全国大会には、本校のソフトテニス部、柔道部、サッカー部(国体選手)、音楽部、美術部、ダンス同好会と分校のカヌー部が出場し、文武両道を実践しています。加えて、自分・地域・未来のことをしつかり探究する学習にも力を入れており、「勉強力」「実行力」「探究力」をバランスよく身に付ける教育活動に取り組んでいるところです。

感染症による活動制限も徐々に緩和され、以前のような活気が戻りつつあります。しかしながら、学校教育を取り巻く社会情勢の変化は目まぐるしく、柔軟に対応する力が要求されています。そのような中でも、変わらず目指すべきことは「地域の未来を担う人材の育成」です。子どもは地域の宝であり、その宝をお預かりしているのが学校です。まだまだ粗削りではありますが、関係機関と連携し、磨きをかけて、いずれ地域や社会の未来を担う人材となることを願って教育活動を推進しているところです。本年度、同窓会総会及び各支部総会(大阪・高知・東京・名古屋)に参加させていただき、同窓生の想いと熱をひしひしと感じまし

た。同窓会活動の原動力は母校の活躍です。我々教職員はこれまで以上に同窓生の皆様方のご期待に応えるべく、全力で教育活動に取り組んでまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様方の更なる活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



本部総会報告

八月十二日(土)、四年ぶりとなる同窓会総会が料亭「吾妻」にて開催されました。総会、また総会後の懇親会には、東京・名古屋・大阪・高知の各支部からの御出席も含め、九十人超の御出席をいただき、久しぶりに盛大に開催できましたことを心よりお礼申し上げます。日中は、ゴルフコンペを行い、これも大いに盛り上がりしました。懇親会では、そのゴルフコンペの表彰式や、「くじ引き大会」なども行い、終始歓声と笑顔の



顧問	寺尾省三 (40)
名誉会長	宮地秀伸 (57)
会長	遠近巖 (47)
副会長	亀谷暢子 (47)
副会長	今城京助 (48)
副会長	美口博 (51)
副会長	福永和孝 (54)
副会長	福原紀夫 (56)
監事	西澤和史 (62)
監事	杉本浩子 (48)

【本部執行役員】
* (数字) は卒業年

大阪支部活動報告

支部長 森田耕吉 (S48年卒)

四年ぶりに大阪支部同窓会を開催することができました。これもひとえに、支部会員の皆様をはじめ、本部、遠近巖会長をはじめ、十名にも及ぶ御来賓の方々のご参加により、五十名弱の人数で令和五年度の大阪支部同窓会を無事終了することができ深く感謝しております。

今回のコロナ禍では、全国でも突出した医療機関の逼迫、重篤化する患者、お亡くなりになる方の増加などが続き、大阪で人と会うことは、とてもできませんでした。しかし、今では、大阪にもかかわらずの賑わいが戻り、笑顔で街を歩く人々が日に多くなってきました。わが支部役員会でも、五年ぶりに忘年会を実施します。高齢化に伴い同窓会会員の減少や若手会員数の減少など、課題はたくさんありますが、たとえ細くても、一つ一つの小さいつながりの糸を少しずつ大きくしていきたいと思っております。

長年お世話になったスパードライの会場が閉店となり、令和六年度の総会の会場を変更します。今後ともよろしくお願い致します。

【令和五年活動報告】

- 令和五年三月十九日(日) 令和五年度支部総会・懇親会開催への最終協議
- 令和五年五月十四日(日) 令和五年度支部総会・懇親会の事前打ち合わせ、役割分担

【大阪支部役員】

* (数字) は卒業年

顧問	堅田順一 (29)
顧問	文野肇 (35)
顧問	吉本弘 (37)
顧問	山崎和裕 (40)
※会計を兼務	※会計を兼務
顧問	吉本正男 (38)
支部長	森田耕吉 (48)
※事務局を兼務	※事務局を兼務
副支部長	山崎和裕 (40)
※会計	※会計
副支部長	林永年 (50)
※企画	※企画
会計監査	橋田國身 (38)
会計監査	小山節子 (40)
幹事(会計)	土居あや子 (42)

【次年度の行事等のお知らせ】

- 令和六年六月一日(土) 令和六年度大阪支部同窓会総会・懇親会



高知支部活動報告 支部長 小野二三雄 (S40年卒)

令和元年九月二十一日の高知支部総会以降、令和二年二月に発生した新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全ての会合が中止となり、本総会も例にもれず、三年間中止の状態でした。今年度は、令和五年九月二日(土)午後六時より、高知会館にて高知支部総会が開催されました。支部長の開会の挨拶後、来賓として遠近巖同窓会会長 中澤慎二高知市市長代理、竹本美佳四万十市市長代理、宮地秀伸中村高等学校校長よりご挨拶があり、各支部から今城京介同窓会副会長、光内志津同窓会事務局、立目浩文東京支部支部長、石丸芳子東京支部支部長、有友孝博名古屋支部支部長、森田耕吉大阪支部支部長のご紹介をして総会が始まりました。総勢八十五名の出席でした。引き続き沖田益男氏より会計報告、坂本安廣氏の監査報告があり、皆様の承認後、朝野正倫支部顧問より乾杯の挨拶で懇親会が開宴し、久しぶりに同窓生の方々と楽しい時間を共有することが出来ました。

毎年、春と秋の年二回、親睦ゴルフコンペを土佐クラブで開催しています。四月二十九日は十一組四十名の参加があり、窪内博文様(S51年卒)が優勝、秋は九月二日、十組三十三名の参加があり、秋森学様(S53年卒)が優勝されました。

さて、支部総会は四年ぶりの開催でしたので、この間に年配の同窓生の死亡、体調不良の連絡が多数ありました。また若い人は転勤のため住所不明となり、案内状が返送されるケースが多くなっています。返信の回収率が低下しております。出来れば転勤の際、事務局に一報いただければ幸いです。

朗報として昭和五十七年卒の原田哲警視正が、令和五年三月付で刑事部長に昇格されました。誠におめでとうございます。

懇親会の中締めは、平成三年卒の下村純様の音頭にて、全員で校歌を歌って散会となりました。来年も更に多くの同窓生との再会を

楽しみにしております。最後になりましたが、遠近巖同窓会会長のもと中村高校同窓会の益々のご発展とご健勝を祈願し、近況報告とさせていただきます。

【令和五年活動報告】

- 令和五年四月二十九日(土) 春の親睦ゴルフコンペ
- 令和五年九月二日(土) 秋の親睦ゴルフコンペ
- 令和五年九月二十一日(土) 高知支部総会

【高知支部役員】

* (数字) は卒業年

名譽顧問	島津 栄一	(32)
顧問	浅野 正倫	(33)
顧問	土森 正典	(38)
支部長	小野 二三雄	(40)
副支部長	尾崎 祐正	(41)
副支部長	坂本 安廣	(42)
副支部長	山崎 澄夫	(47)
副支部長	中平 雅彦	(48)
副支部長	上田 哲也	(51)
副支部長	中澤 慎二	(51)
副支部長	福留 利也	(54)
幹事	大原 晋	(40)
幹事	小島 一水	(44)
幹事	岡崎 憲	(44)
幹事	夕部 富三	(45)
幹事	上岡 まゆみ	(45)
幹事	小島 幸年	(49)
幹事	島村 忠司	(49)
幹事	山田 昇	(49)
幹事	谷淵 一幸	(51)



事務局	宮川 哲	(40)
事務局	木戸 正昭	(37)
会計	橋田 典人	(41)
会計	沖田 益男	(49)
監査	三宮 幸加	(44)
監査	坂本 安廣	(42)
監査	小島 一水	(44)

東京支部活動報告

支部長 立目浩文 (S61年卒)

十月二十九日、東京支部第七十二期総会および懇親会を東武ホテルバント東京にて、開催致しました。東京支部総会員数六二七名に案内を発送しましたが、参加者数はご来賓を含み総勢四十九名と少ない人数となりました。

しかしながら、今年はご来賓として、四万十市長代理として西澤市議会事務局、高校からは宮地校長と総務部長の光内先生、本部同窓会からは遠近同窓会長と福永副会長、同窓会各支部長、他校同窓会からも、ご出席頂きました。また、今年はお初参加の同窓生も数名おり、今後の出席者増員への足掛かりになるのではと、少し期待を持つことが出来ました。

今回の総会では、第一号議案 役員改選、第二号議案 決算報告、第三号議案 次期事業計画および予算案について審議頂き、満場一致で承認頂きました。

【令和五年活動報告】

- 令和五年四月十五日(土) 緑を楽しむ会「イタドリ採り」(大雨中止)
- 令和五年七月十五日(土) ボウリング大会(参加者不足中止)
- 令和五年八月五日(土) 支部だより発送
- 令和五年十月二十九日(日) 第七十二期総会・懇親会



【東京支部役員】

* (数字) は卒業年

支部長	立目 浩文 (61)
副支部長	中村 朝子 (55)
副支部長	武内 初男 (58)
副支部長	石丸 芳子 (62)
副支部長	林 哲司 (63)
監査役	小橋 眞一 (47)
幹事	中野 正三 (40)
幹事	稲田 義克 (46)
幹事	武田 正人 (55)
幹事	小谷 昭仁 (平3)
幹事	小川 愛生 (平3)
相談役	山下 幸夫 (44)

【次年度の行事等のお知らせ】

令和六年四月二十日(土)
緑を樂しむ会

令和六年七月二十日(土)
ボウリング大会

令和六年八月上旬
支部だより発送

令和六年十月十九日(土)
第七十三期総会・懇親会



名古屋支部活動報告

支部長 岡村隆幸 (S46年卒)

平素は名古屋支部活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。同窓生の皆様には、ご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。

さて今年の総会は四〇名の参加を得て十一月五日(日)にアイリス愛知において開催致しました。三年間のコロナ禍を過ぎたとはいえ、まだまだ、今回も総会への参加を見送るという方も見えました。が、今年は初めて幡多農業高校同窓会より山田敏博様にもご縁があり、ご参加いただきました。そのコロナ禍を経て参加された方々は、世代を超えて久しぶりの再会を大いに喜び、大いに飲み、二次会へと場所を変え、またまた大いに飲み、楽しい時を過ごしました。そして翌日には、本部、各支部との親睦ゴルフを、名古屋ゴルフクラブ和合コースで行い、親睦を深めました。

今年一月の新年会、三月のお花見会、その他の会議にも、必ず、役員、会員問わず参加していただいております。広く皆様からの意見を取り入れて、より一層活気ある名古屋支部にしたいと思っております。

ただ懸念しておりますのは、新卒の方のご家族の方にはがきを出してもなかなかお返事が頂けておりません。今後の名古屋支部増強策を模索しているところです。最後に中村高校同窓会の益々のご発展と会員皆様方のご健康をご祈念申し上げます。

【令和五年活動報告】

令和五年一月十四日(土)
役員会・新年会(わらやき屋名古屋 十八名参加)

令和五年三月二十五日(土)
役員会・花見会(岡崎ニューグランドホテル) 三十一名参加

令和五年七月十五日(土)
役員会(アイリス愛知) 十七名参加

令和五年九月五日(火)
役員会(わらやき屋名古屋) 十七名参加

令和五年十一月五日(日)
総会(アイリス愛知) 四〇名参加

令和五年十一月五日(日)
総会(アイリス愛知) 四〇名参加

【名古屋支部役員】

* (数字) は卒業年

顧問	宗崎 久宜 (27)
支部長	岡村 隆幸 (46)
副支部長	有友 孝博 (58)
副支部長	石橋 美絵 (平3)
副支部長	寺田 道子 (40)
幹事	土森 道雄 (40)
幹事	森田 哲夫 (40)
幹事	熊谷 不二 (42)
幹事	倉橋 幸代 (46)
幹事	嶋津 久美子 (46)
幹事	吉田 茂 (53)
幹事	長谷川 雅彦 (57)
幹事	千代岡 勇介 (62)
幹事	鈴木 恵美子 (62)
幹事	杉谷 麻衣 (平4)
幹事	福井 克典 (平2)
会計	上田 省三 (平1)
監査	宮村 誠一郎 (40)

【次年度の行事等のお知らせ】

令和六年十一月予定
総会(アイリス愛知)



中村高校西土佐分校同窓会

会長 佐々木 英人 (S57年卒)

秋冷の候、同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。また、日ごろは、本校教育活動にご協力・ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

西土佐分校同窓会長の(S57年卒)佐々木です。同窓生のご協力を得ながら分校存続・発展のために全力で邁進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

西土佐分校は今年度、八名の新生を迎えましたが、二年生七名、三年生六名の全校生徒二十一名で県下一の小規模校となっており、入学生確保に苦慮しています。

年三回開催している西土佐分校存続推進協議会も、昨年九月より部会を結成して毎月開催することになり、「分校存続の意義」「入学生を増やす手立て」「分校の魅力」等について、協議しています。また、今年度より「地域みら

い留学」事業に参加し、県外からの本格的な入学募集を始めました。

築五〇年が経過した分校寄宿舎の青葉寮も7月より移転工事が始まり、令和六年四月から入居可能となります。今後、県内・県外の生徒の入学が期待されます。

本校は昭和二十六年「中村高等学校津大分校」(昼間定時制)として開校以来、幾度かの変遷を経て、令和三年に七〇年の歴史を刻み、昨年は七〇周年記念式典が実施されました。今後も県教育委員会や四十市、西土佐地域が一体となって、「地域とともにある学校」「地域になくてはならない学校」をめざして「魅力」と「実力」を発信してまいります。

以下に部活動や学校行事等の生徒の写真を掲載し、西土佐分校の近況報告いたします。



カヌー部

秋季大会(新人戦)
男子総合優勝



地域ボランティア隊
ラポール
図書館イベント



7/13 収穫祭



9/15 清流度調査



10/1 地域合同体育祭

学校行事

西土佐分校 昭和46年卒 同窓会



同期会

【昭和43年卒同窓会(55周年記念)】

昭和43年3月中村高校卒業、55周年の同窓会を、去る8月11日に行った。

50周年の同窓会から5年しか経っていないのに、この5年間の同窓生の変化には、「老い」という言葉が各自に忍び寄っていた。さみしい限りではあるが、まずは黙祷から始まった。

でも、いろいろな体調不良を抱えながらも、55周年に集えたことは幸せなことだと思った。同級生とのおしゃべりはやっぱり楽しい。

友との幡多弁での会話。

「わしゃあ近頃ボケよるみたいな。」

「そりゃあ遅いわ。私はとっから忘れよるぜ。」

人生百年の時代と言われるようになってきたとはいえ、これから先、元気はつらつで過ごしていく自信はないのが本音。

同級生の皆さん、これからは一日一日を、自分を大切にしながら過ごしていきましょう。

昭和43年卒 藤倉永子



～～令和4年度同窓会協力金について～～

[「令和4年度同窓会協力金会計決算書」](#)・[「ご協力いただいた方々
の名簿」](#)・[「同窓会協力金通信欄\(メッセージ\)」](#)につきましては、
このHP上同窓会のページ内「同窓会協力金のお願い」に載せて
いますので、ぜひご覧ください。

